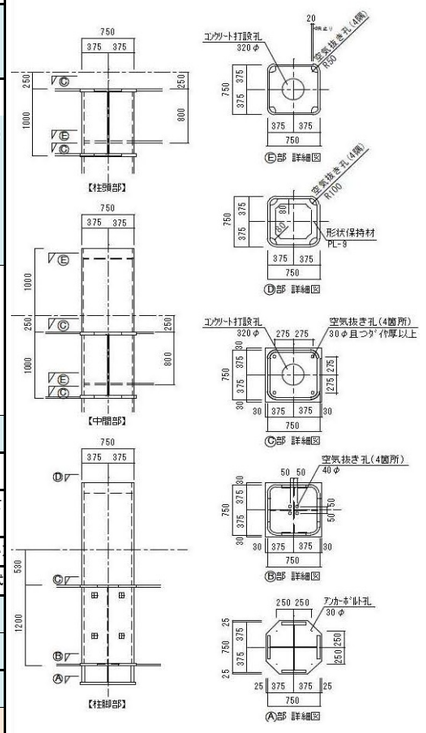
建築物概要書（記入例）

□ 部分は記入、□ 部分は選択をしてください。
（HPより最新版をダウンロードして使用のこと）

（書式-2）
2019.2.28改訂

件　　名		〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇新築工事					← 件名を記入
建築場所		〇〇県〇〇市〇〇＊丁目＊＊－＊＊					← 所在地の住所を記入
建物用途		事務所／店舗					← 主な用途を記入
地域指定		■ 防火　□ 準防火　□ 無指定　（どれか一つの□を■にしてください。）					← どれか一つを選択のこと
面　　積	敷地面積	59,000.00 ㎡	建築面積	1,850.00 ㎡			← 各面積は、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと（書式を指定済み）
	延床面積	28,500.00 ㎡	基準階面積	2,980.00 ㎡			
階　　数	地下：1 階、	地上：12 階、	搭屋：1 階				← 階数を、着色部にそれぞれ整数で記入のこと（書式を指定済み）
高さ・スパン	軒　　高	44.50 m	建築物高さ	44.50 m			← 軒高、建築物高さ、最後部高さはGLからの高さを、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと（書式を指定済み） 階高は、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと（書式を指定済み） 標準スパンは各方向の代表的なスパンを、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと（書式を指定済み）
	最高部高さ	51.00 m	基準階 階高	3.60 m			
	1階 階高	4.50 m	標準スパン	X：9.60 m Y：9.60 m			
	建築物の幅高さ比（建築物の 高さ/幅）	長辺方向：0.61 ＝（ 44.50 ／ 72.50 ）	短辺方向：1.55 ＝（ 44.50 ／ 28.80 ）				← 1階の建物の各方向の幅を、着色部に数値で小数点以下1位まで記入のこと（書式を指定済み）
主体構造	地業形式	杭基礎	代表的な柱・大梁の仕口部回り(立面図)および ダイアフラムの形状(平断面図)				← 着色部のメニューから選択のこと
	基礎構造	独立基礎					← 着色部のメニューから選択のこと
	構造形式/構造種別（地上階）	X方向：ラーメン構造	S造(柱CFT)				← 着色部のメニューから選択のこと
		Y方向：ラーメン構造	S造(柱CFT)				← 着色部のメニューから選択のこと
	構造設計上の特色	中間免震構造を採用し、地下階について、基礎躯体～免震ピットはRC造、免震上部躯体～1階床はSRC造、地上階はS造となっている。エントランスホール廻りが1、2階吹抜け部で大梁の無い長柱となっている。					← 構造設計上の特色を簡潔にできるだけ具体的に記入してください
	柱・大梁 断面形状及び材料	鉄骨：					← (右欄)代表的な柱・大梁の仕口部回りの立面図およびダイアフラムの形状の分かる平断面図を添付し、主な寸法が読めるように記入のこと
		柱：□-750×750×22～36(BCP325B；CFT柱)					← 外形断面の大きさが3種類以下の場合は、□-800×800×22～32(BCP325)のように3段(上の段を使用)に記入してください 外形断面のの大きさが4種類以上の場合は、主な2種類を上記のように、残りを□-800～700×800～700×22～32(BCP325)のように記入してください
		□-350×350×22(BCR295；鉄骨柱)					
		大梁：BH-700～1200×350～500×14～22×22～40(SN490B)					← 外形断面のの大きさが2類以下の場合は、BH-1000×300×9～16×19～32(SN490)のように2段に記入してください 外形断面のの大きさが3種類以上の場合は、BH-900×200×9×19～BH-1000×400×16×32(SN400、SN490)のように記入してください
		H-700～1200×250～400×12～19×22～40(SN490B)					
		コンクリート：					
		充填コンクリート：Fc 42 、60					← 着色部に数値を記入のこと（5種類以上の場合は上の段に記入のこと）
		被覆コンクリート：Fc 36					← 着色部に数値を記入のこと
		一般コンクリート：Fc 24 、36					← 着色部に数値を記入のこと
		鉄筋：D10～16(SD295A)、D19～25(SD345)、D29～32(SD390)					← 鉄筋径別にD10～16(SD295A)、D19～25(SD345)、D29～32(SD390)のように記入してください
	耐力壁その他	鉄筋コンクリート造耐力壁					← 着色部のメニューから選択のこと(複数ある場合は主なものを選択のこと)
	柱・梁 接合部の形式	柱継手：現場溶接	その他の場合、この文を消して具体的に記入してください				← 着色部のメニューから選択のこと
		柱・梁接合形式：（使用している形式の前の□を■にしてください）	■ ブラケット方式	■ ノンブラケット方式			
		柱・梁仕口部 フランジ	工場溶接	ー			← 着色部のメニューから選択のこと
		柱・梁仕口部 ウェブ	工場溶接	工場溶接			
		大梁継手部 フランジ	高力ボルト接合	現場溶接			← 着色部のメニューから選択のこと
		大梁継手部 ウェブ	高力ボルト接合	高力ボルト接合			← 着色部のメニューから選択のこと
	床形式	フラットデッキスラブ	（文字が読めるように図面を添付のこと）				← 着色部のメニューから選択のこと(複数当てはまる時は一番多いと思われるものを選択のこと)
	非耐力壁	外壁 PCaコンクリート壁	内壁 軽鉄間仕切り壁				← 着色部のメニューから各々選択のこと(複数当てはまる時は一番多いと思われるものを選択のこと)
	耐火被覆	吹付ロックウール	（ その他の場合、この文を消して具体的に記入してください ）				← 着色部のメニューから選択のこと(複数当てはまる時は一番多いと思われるものを選択のこと)；その他を選択した場合は具体的に記入のこと
無耐火被覆CFT造柱の有無		有	耐火性能評価（ルートC）				← 着色部のメニューから選択のこと
施工計画上の特色		CFT造コンクリート充填 落し込み充填工法：1FL－1,730～1FL＋650（Fc60；1FL＋1,000の高さに設けている柱継手部から2工区に分けて充填） 圧入工法(1回目)：1FL＋650～6FL＋1,100（Fc60；3工区に分けて充填） 圧入工法(2回目)：6FL＋1,100～RFL（Fc42；3工区に分けて充填）					← 施工計画上の特色を簡潔にできるだけ具体的に記入してください （圧入か落し込み充填か？；高さ方向のFcの割り付け；斜め柱、長方形断面柱等、その他CFT柱に関する特殊な事項 等）